

ショウティックかわら版

昭和電工株式会社喜多方事業所
昭和電工喜多方アルミ株式会社
発行日：2019年12月27日
第39号

会津工業高校・喜多方桐桜高校から 高校生のインターンを受け入れました

昭和電工喜多方アルミ(株)では10月8日～10日に会津工業高校機械科2年生2名、11月12日～14日に喜多方桐桜高校機械科2年生3名のインターンシップを受け入れました。

当社では毎年、上記2校の生徒を受け入れており、今年は製造部鍛造課にて実習を行いました。

初めに安全教育や製品・技術の説明を行い、工場見学の後、実習に移りました。実習では、実際の製造工程の中で機械や製品を扱う作業も経験するなど、工場現場のオペレーターとしての業務を体験しました。

また、すべての実習生が機械科の生徒であったことから、旋盤などの学校の授業でも使う機器がある金型室の見学も行いました。実習生達は多くの工作機械が並んでいる室内に興味深く見学していました。

インターンシップを通して、挨拶や時間厳守など社会人の基本的なマナーから、製造現場での仕事や安全に対する意識まで、生徒はいろいろなことを感じ、学んだことと思います。今回得た経験が、自らの将来を考えるうえで役に立つことを願っています。



金型室見学の様子



実習の様子

防災訓練を実施しました

10月18日に総合防災訓練を行い、当日の出勤者全員が参加しました。場内放送で地震発生が告げられると、職場の管理者の指示のもと、出勤者全員が各避難場所へ避難し、安否確認が行われました。

また、緊急対策本部を設置し、その指揮のもと、各避難場所から報告される従業員の安否確認、場内での火災発生初期対応訓練などにあたりました。

当事業所では、様々なケースを想定し、全員参加での訓練を行うことで、万が一への備えを継続していくと共に、従業員一丸となって火災や事故、災害を出さない(おこさない)現場作りに取り組んでまいります。



消火訓練の様子



喜多方桐桜高校機械科1年生の 工場見学を実施しました

昭和電工喜多方アルミ(株)では、10月31日に喜多方桐桜高校機械科1年生32名の工場見学を実施しました。

はじめに昭和電工グループ及び当社の概要説明を行い、その後鑄造工程を見学しました。ちょうど鑄造のタイミングと重なり、水平方向に鑄造されて出てくるアルミやそれが同調切断機で同じ長さに切断されていく様子を見ていただくことができ、その様子にみなさん釘づけでした。また、同じ高校出身の先輩を含む従業員が、チームワークを発揮しながら真剣に作業をしている様子も見てもらうことができました。

工場見学後の質疑応答では、「従業員の方のお給料はいくらですか?」というストレートな質問から、工場内に駐車されている場内通行用の自動車に関する質問などがあり、工場の様々なところに興味を持って見学していただいたことが分かりました。

この工場見学が、生徒の皆さんの将来を考える一助になれば幸いです。



工場見学に
いらっしやった皆さん

人権講演会を開催しました



ご講演をいただきました

12月5日、昭和電工喜多方アルミ(株)では、会津大学上級准教授清野正哉氏を講師にお招きし「インターネットによる人権侵害を考える～ソーシャルメディアと人権～」というテーマでご講演をいただきました。

講演会では、利便性の高いソーシャルメディア・SNSの「デメリット」を中心に、自分が被害を受けるリスク、意図せずして他者の人権を侵害してしまうリスクなどをお話しいただきました。

当社では今後も、全ての従業員が働きやすい職場を目指して、人権意識の向上に取り組んで参ります。

発行元:昭和電工(株)喜多方事業所(総務課)
お問合せ先:福島県喜多方市字長内7840
電話:0241-22-1261

